

平成24年度予算特集①

予算編成 基本方針

昨年3月11日に発生し、多くの尊い命と平穏な暮らしを奪った東日本大震災から間もなく1年が経とうとしています。この震災は国難であり、国を挙げて



予算編成方針を述べる小川市長

「日本一暮らしやすいまち」の実現へ ～第五次総合計画・前期基本計画を総仕上げ～

3月5日から22日まで開かれた第1回市議会定例会で、新年度予算が可決されました。ここでは、本会議初日に小川市長が述べた新年度予算編成の基本方針や市政運営の要旨を抜粋して紹介します。

一日も早い復旧・復興に向け、全力を傾けていかなければならないと強く感じております。

さて、日本経済は、長引く世界的な景気後退に加え、慢性的なデフレや円高などにより、依然として憂慮すべき事態が続いております。本市におきましても、歳入の根幹である市税の大幅な減収が見込まれ、厳しい財政状況になっております。

しかしながら、こうした厳しい時にこそ、行政が活力の源泉となり、元気のあるまちづくりを進めていかなければならないと考えております。

平成24年度は、「奥の細道むすびの地記念館」のオープンをはじめ、東海環状自動車道(仮称)大垣西ICから(仮称)養老JCT間の開通、「大垣駅北口広場」の完成、「リサイクルセンター」の稼働、そして「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」の開催など、ビッグプロジェクトが花開く1年であります。

また、第五次総合計画・前期基本計画の最終年度でもあり、「都市再生・活性化」「安全・安心」「環境創造」「子育て日本一」「かがやきライフ」の5つの重点プロジェクトなど、計画の総仕

上げに取り組んでまいります。とりわけ、市民の皆様と財産を守るため、地域防災計画の見直しをはじめ、河川整備や学校校舎の耐震化など、水害や地震に備える防災対策を一層充実してまいります。

また、子ども医療費助成制度を高校生相当の年齢まで拡大するなど、子どもたちの笑顔がふれる「子育て日本一」のまちづくりを進めてまいります。

今後も、時代の潮流を的確に見極めながら、「日本一暮らしやすいまち・大垣」の実現に向け、取り組んでまいります。

予算総額 1,395億4,800万円

【一般会計】550億4,000万円 (△7.6%)
【特別会計】483億6,300万円 (3.2%)
【企業会計】361億4,500万円 (△4.1%)

平成24年度予算特集②

予算の 概要

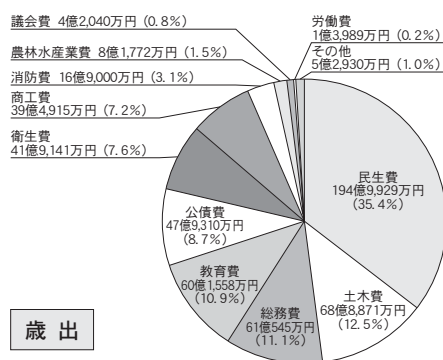
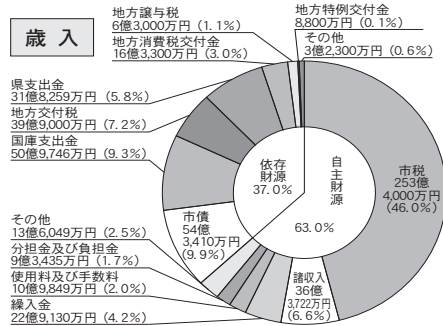
平成24年度の予算総額は、1,395億4,800万円。このうち一般会計の予算は、550億4,000万円で、奥の細道むすびの地周辺整備事業の終了に伴い、前年度比45億1,000万円(7.6%)の減となっています。

福祉などに 11万8,694円	道路や河川などに 4万1,932円	窓口サービスなどに 3万7,164円
教育、文化に 3万6,617円	市民一人あたりの 予算(一般会計) 33万5,034円 平成24年3月1日現在の 人口164,282人で算出	健康、清掃に 2万5,514円
商工業に 2万4,039円	消防、救急に 1万287円	農林水産業に 4,978円

歳入は、全体の46.0%を占める市税が、253億4,000万円で前年度比4.3%の減。企業の減益に伴う法人市民税の減少や、評価替えによる固定資産税の減少などを見込んでいます。また、地方交付税の増額などにより、一般財源の総額は1.1%の増となっています。

歳出は、横曽根工業団地の整備などにより商工費で20.9%、社会保障関係経費の自然増などで民生費で3.3%、それぞれ増加。一方、主要事業の終了などに伴い、総務費で34.1%、教育費で17.1%、土木費で15.5%、それぞれ減となっています。

一般会計の内訳



平成24年度予算特集③

重点プロジェクト 事業

147事業 65億9,419万円

都市再生・活性化

33事業 14億2,008万円

◇奥の細道むすびの地記念館イベント事業…同記念館において年間を通じて各種イベントを開き、憩いと賑わいの空間を創出する



横曽根工業団地の完成予想図

「都市再生・活性化」「安全・安心」「環境創造」「子育て日本一」「かがやきライフ」の5つの重点プロジェクトに、積極的に予算を配分。未来に夢を描くことのできる長期的なまちづくりを進めます。

◇横曽根工業団地整備事業…工業団地整備をはじめ、取付道路などの周辺整備を行うほか、戦略的中心市街地活性化推進事業、東海環状自動車道大垣西IC～養老JCT間開通記念事業、大垣駅南街区市街地再開発事業など

安全・安心

28事業 19億7,225万円

◇地域防災計画等改定事業…防災体制のさらなる強化を図るため、地域防災計画などの見直しを行う

◇新庁舎建設基礎調査事業…有事における防災拠点としての機能を確保するため、新庁舎建設に向けた調査研究を行う

◇地域看護力拡充支援事業…看護師不足を解消するため、大垣女子短期大学が行う看護学



耐震補強が完了した東小中学校の校舎

科新設に伴う校舎建設に対し補助を行うほか、情報工房防災整備事業、自主防災組織支援事業、木造住宅等耐震対策支援事業、小・中学校耐震補強計画事業、排水機場改修事業など

環境創造

27事業 5億5,572万円

◇太陽光発電設備設置事業補助金…一般家庭での太陽光発電設備設置に対し補助を行う

◇LED照明機器導入事業補助金…LED照明機器への切り替えに対し補助を行う

◇バイオガス発電設備整備事業…浄化センターの汚泥処理工程で発生するバイオ(メタン)ガスを、発電などに有効利用

できる設備の基本設計を行うほか、小水力発電設備整備事業、LED交通安全灯整備事業、ダンボールコンポスト推進事業、四季の里整備事業、四季の回廊「千本夢桜」事業など



太陽光発電などの普及を促進

子育て日本一

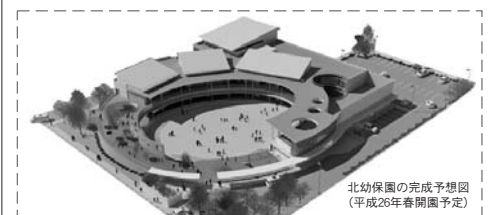
39事業 22億3,228万円

◇子ども医療費支給事業…高校生相当の年齢までを対象に入院および通院にかかる医療費の自己負担分を全額助成する

◇保育園保育料の軽減の拡充…保育料を、国が定める徴収基準額から平均36.9%軽減する※前年度の軽減率は33.3%

◇北幼保育園建設事業…北保育園・かさぎ保育園・北幼稚園を統合し、新たに北幼保育園を建設する

ほか、かがやき婚活事業、特定不妊治療費助成事業、妊婦健康診査事業、ワクチン接種緊急促進事業、病児保育事業、子育て総合支援センターフェスティバル事業、かがやき教育週間推進事業、東北と結ぶ絆事業など



北幼保育園の完成予想図(平成26年春開園予定)

かがやきライフ

20事業 4億1,386万円

◇ぎふ清流国体・ぎふ清流大会推進事業…市内で開催される競技や関連行事の円滑な運営を推進する

◇かがやきライフトウン大垣推進協議会事業…地域活動や社会参加などのきっかけの場を提供するイベントを開く

ほか、地域安全活動支援(さわやかまもりEYE)事業、市民農園ふれあい事業、市民協働緑化事業など



国体リハーサル大会で活躍する市民農園ふれあい事業

特別会計の内訳

会計別	平成23年度当初予算額	平成24年度当初予算額	前年度比
物品調達	750万円	760万円	1.3%
交通災害共済	3,560万円	3,420万円	△3.7%
国民健康保険	161億7,900万円	167億9,100万円	3.8%
国民健康保険運営診療施設	7,300万円	6,820万円	△6.6%
後期高齢者医療	15億4,270万円	16億6,000万円	7.6%
介護保険	100億1,800万円	113億7,100万円	13.5%
簡易水道	1億3,110万円	2億240万円	54.4%
市行造林	5,420万円	5,580万円	3.0%
公設地方卸売市場	1億2,970万円	1億2,210万円	△5.9%
公共下水道	70億5,000万円	67億8,500万円	△3.1%
特定環境保全公共下水道	2億5,110万円	2億5,680万円	2.3%
農業集落排水	7,670万円	7,740万円	0.9%
駐車場	1億3,060万円	1億3,710万円	5.0%
競輪	112億700万円	107億9,000万円	△3.7%
牧田財産区	790万円	340万円	△57.0%
一之瀬財産区	30万円	30万円	0.0%
時財産区	70万円	70万円	0.0%
合計	468億5,000万円	483億6,300万円	3.2%

企業会計の内訳

会計別	平成23年度当初予算額	平成24年度当初予算額	前年度比
病院事業	340億8,300万円	323億800万円	△5.2%
水道事業	36億2,200万円	38億3,700万円	5.9%
合計	377億500万円	361億4,500万円	△4.1%